

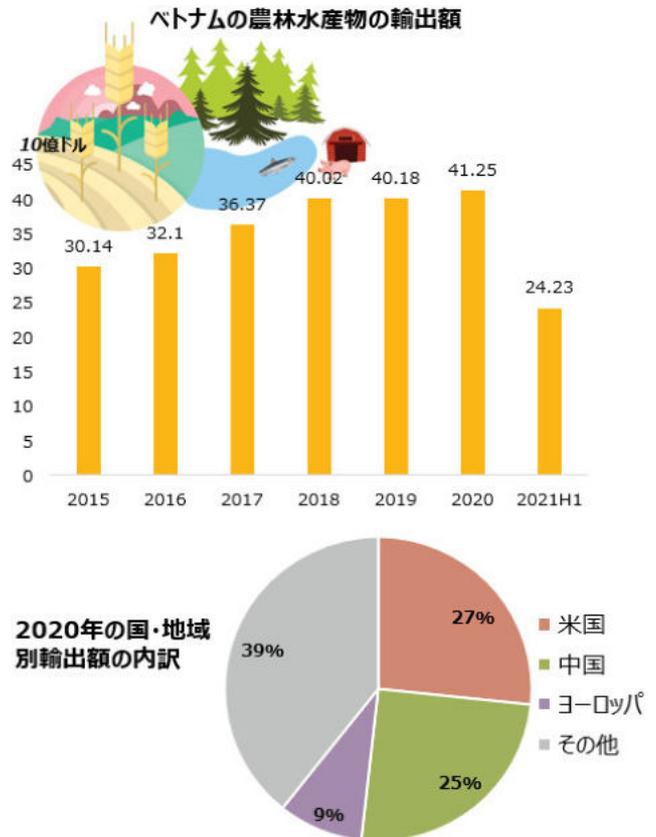
2021年8月11日

ベトナムの農林水産物

ベトナムの輸出入全般は新型コロナのパンデミックや気候変動によって多大の影響を受けましたが、農林水産物の輸出額に関しては約 2.7%の成長率を維持し、ベトナムの経済成長にとって重要な基盤として位置付けられています。

2020年のベトナムによる農林水産物の輸出は約 412 億ドルで、世界 17 位にランクされました。しかし、それは世界の同輸入額の 1.95%にすぎないため、ベトナムはこの分野でさらに市場を拡大する余地が十分にあると言えます。

ベトナム農業農村開発省の統計によると、2020年にベトナムの農産物は 190 か国・地域に輸出されましたが、その中で、輸出額が 10 億ドルを超える輸出品は 9 品目、30 億ドルを超えるのは 5 品目あります。輸出品目の内訳をみると、木材・木製品が 123 億ドル、エビが約 37 億ドル、果物・野菜が 33 億ドル、カシューナッツが 32 億ドル、米が約 31 億ドルとなりました。環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定 (CPTPP)、EU ベトナム自由貿易協定 (EVFTA)、英国ベトナム自由貿易協定 (UKVFTA) など新世代の自由貿易協定は、ベトナムの農産物にとって新市場を開拓するために重要な貢献を果たすと期待されています (現在、39 品目が地理的表示に関し EU による保護の対象)。輸出先をみると、国別輸出額で 1 位が米国(輸出額：109.9 億ドル、全体比：27%)、2 位が中国(103.6 億ドル、25%)、3 位がヨーロッパ(37 億ドル、9%)となっています。



出所：ベトナム総税関局

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社 (CAM) が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

2021年上半期の農林水産物の輸出額は242億ドルを超え、前年同期比28.2%増となりました。その中で、農産物の輸出額は104億ドルで、13.3%の増加となりました。特に茶、胡椒、カシューナッツ、野菜、果物、ゴム、キャッサバ（タピオカの原料）などが伸びました。



出所：産業貿易省の輸出入部、CPVN 編集

ベトナムの多くの農産物は、世界で高い輸出市場シェアを占めています。

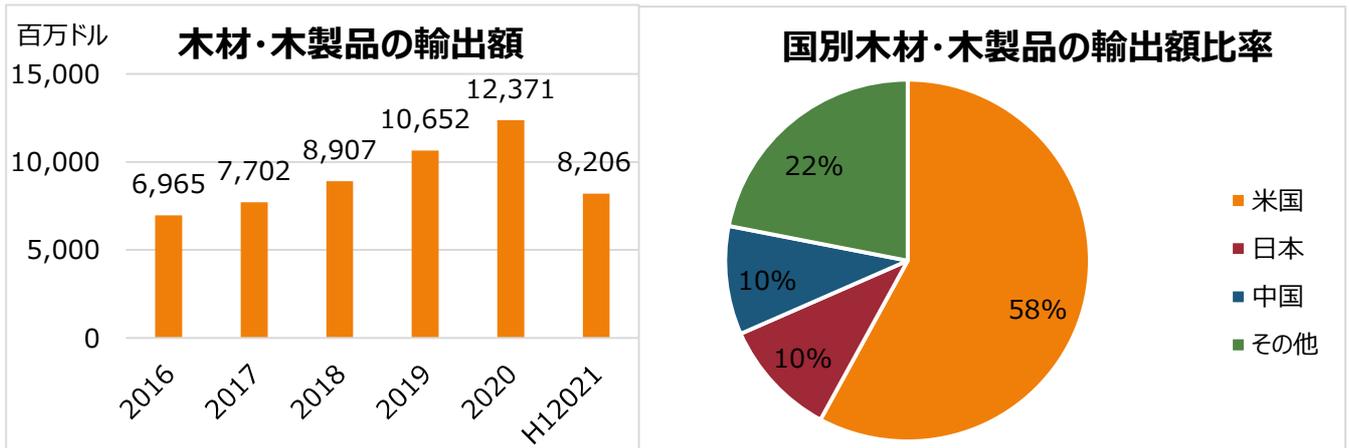
品目	世界ランキング（2020年）	2020年の輸出額（億ドル）
シーフード/水産物	3	84.1
木材・木製品	2	123.7
コーヒー	2	27.4
胡椒	1	6.6
カシューナッツ	1	32.1
米	2	31.2
天然ゴム	3	23.8
果物と野菜	7	32.7

出所：CPVN 集計

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

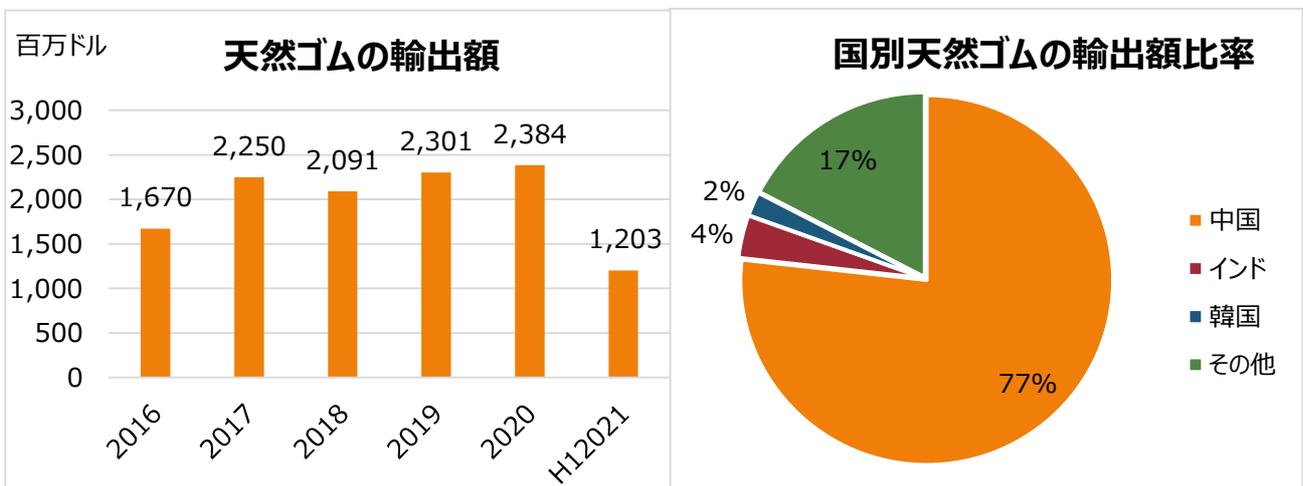
ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

・**木材・木製品**はベトナムで 2 桁成長を続けている品目です。2020 年の輸出額は約 123.7 億ドルで世界第 2 位となりました



出所：ベトナム総税関局

・**天然ゴム**：現在、ベトナムは世界第 3 位の天然ゴム輸出国です。天然ゴムの約 80%が世界 80 カ国に輸出されています。

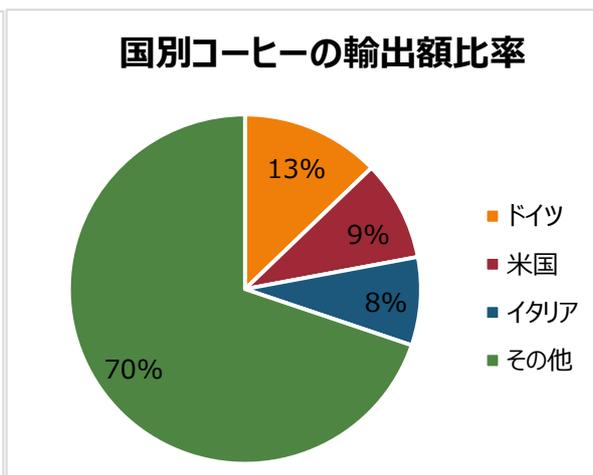
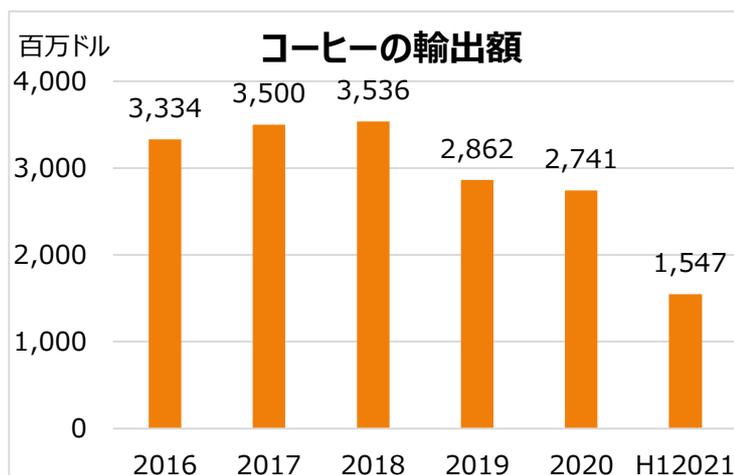


出所：ベトナム総税関局

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

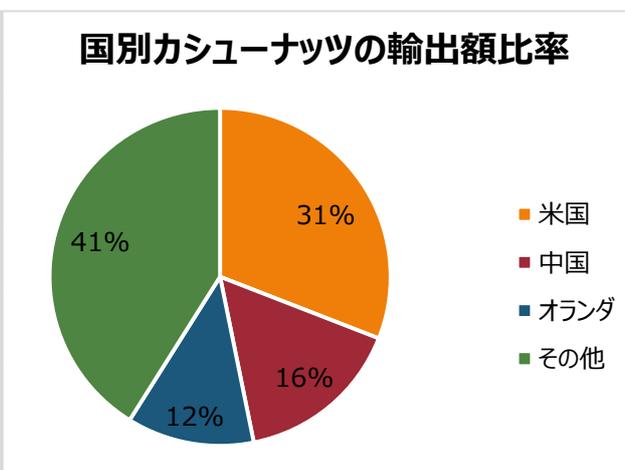
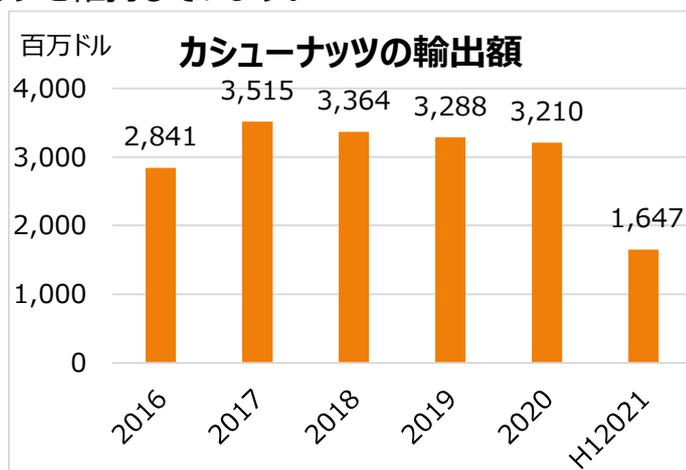
ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

・**コーヒー**：ベトナムはロブスタ種の世界生産シェアの4割を占める最大産地です。2020年の輸出額は約27.4億ドルで世界ランク2位となりました。



出所：ベトナム総税関局

・**カシューナッツ**：2020年の輸出額は約32.1億ドルで、過去10年間連続して世界トップを維持しています。

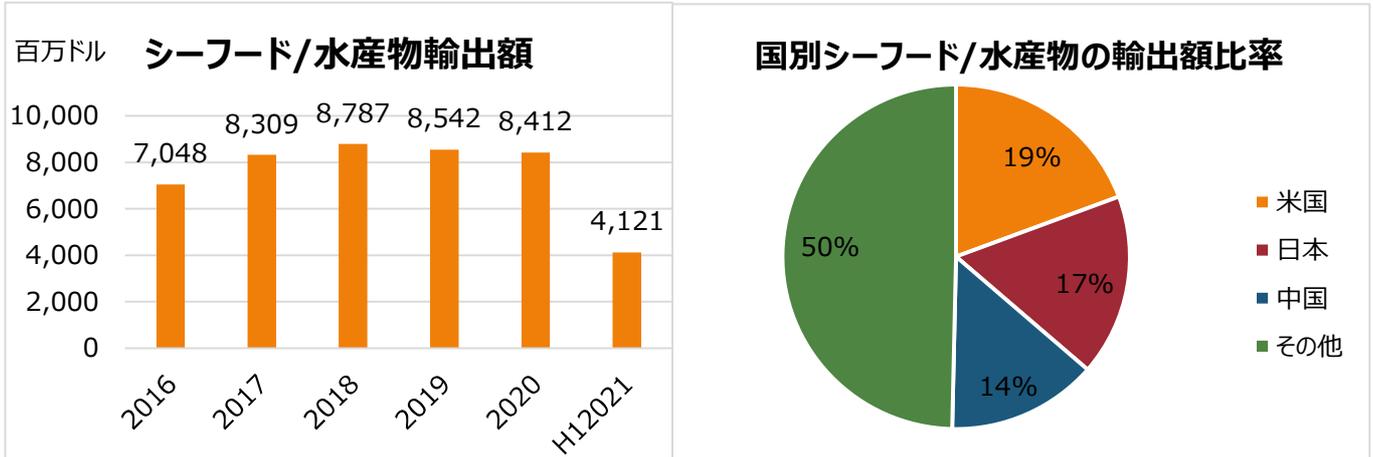


出所：ベトナム総税関局

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

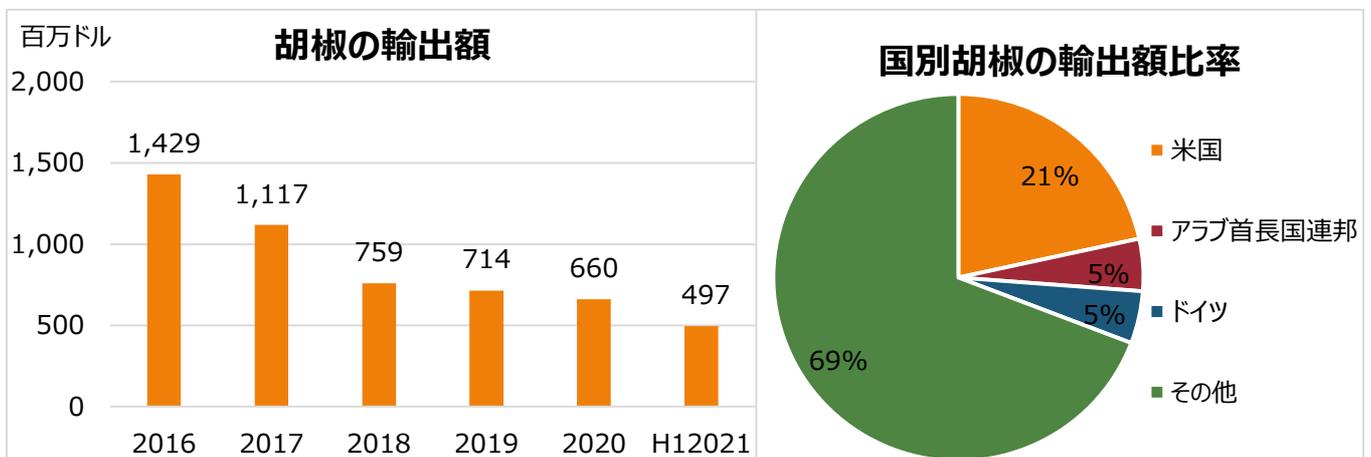
ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

・**シーフード/水産物**：2020年の輸出額は約84.1億ドルで、世界3位を維持しました。



出所：ベトナム総税関局

・**胡椒**：ベトナムは世界最大の胡椒の生産地です。2020年の輸出額は約6.6億ドルで、2001年から連続して世界ランク1位を維持しています。

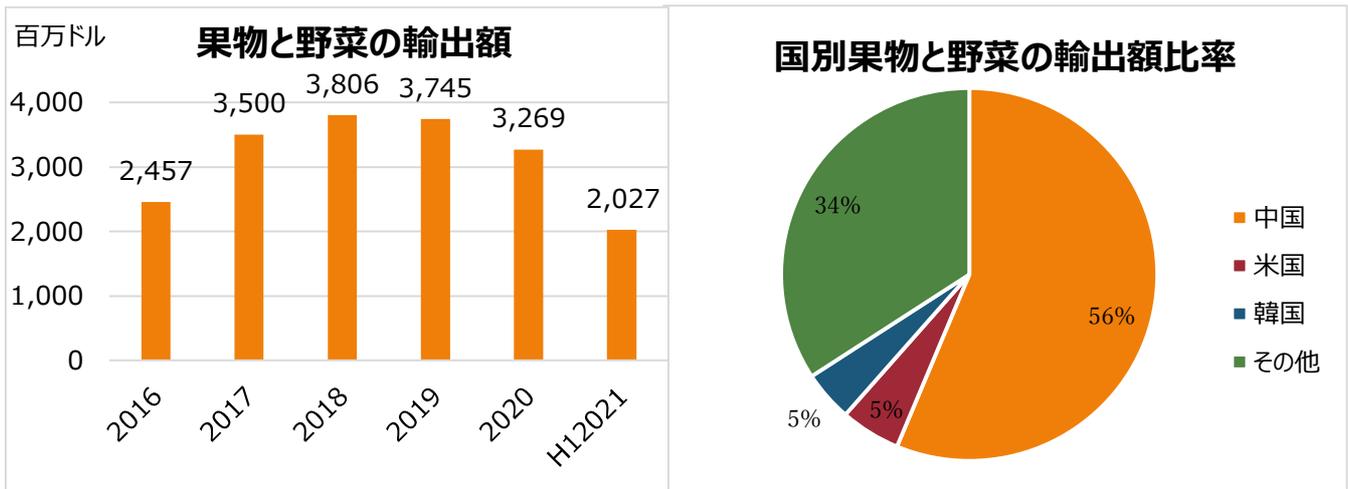


出所：ベトナム総税関局

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

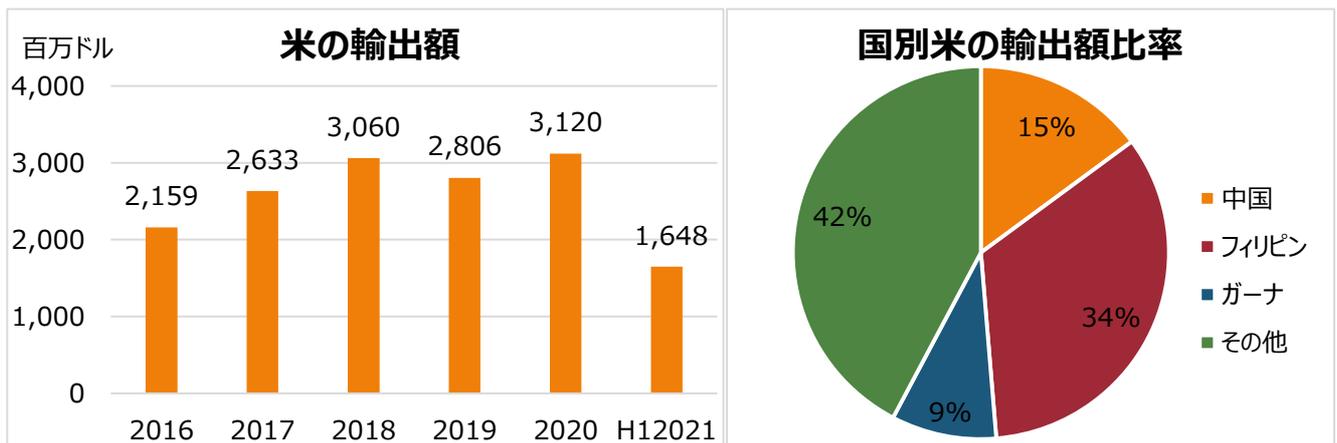
ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

・**果物・野菜**：2020年の輸出額は約32.7億ドルでした。2030年までに、ベトナムの果物・野菜の輸出額を世界上位5か国に入れるという目標を設定しています。



出所：ベトナム総税関局

・**米**：2020年に、ベトナムは31億ドル相当625万トンの米を輸出しました。これにより、ベトナムは米の輸出で世界第2位になりました。



出所：ベトナム総税関局

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

農業農村開発省の統計によると、2020 年末の時点で全国に 43,000 社以上の農林水産物加工・取引企業があり、その内 7,500 以上の施設が輸出に対応する規模を有します。しかしながら現在、ベトナムで輸出用に加工された農産物は全体の約 20～30%にしかすぎません。この比率から、農業国としてのベトナムのポテンシャルを考えると、伸びしろが大きいと言えるでしょう。

首相指令 25 / CT-TTg では、ベトナムを 2030 年までに農業分野で世界トップ 15 か国の仲間入りを果たすことを目標に設定しています。その中でも、農産物加工産業は世界のトップ 10 入り为目标で、農業関連の貿易で輸送・加工・倉庫に至る一連のバリューチェーンを構築しロジスティクスの中心地となることを目指しています。

ベトナムにおいて農林水産業は大きな可能性を秘めた産業で、ベトナム政府はその経済開発政策においてハイテク農業開発に高い優先度を置いています。この政策は、生産・加工・保存の技術あるいはグローバルネットワークを有する企業にとって農業事業に投資する機会が開かれることを意味し、絶好のビジネスチャンスとなるでしょう。



出所：産業貿易省の輸出入部、CPVN 編集

【写真提供：CPVN】

<http://www.capital-am.co.jp>

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

以上